

スマートシティ事業をめぐる新興国の動き

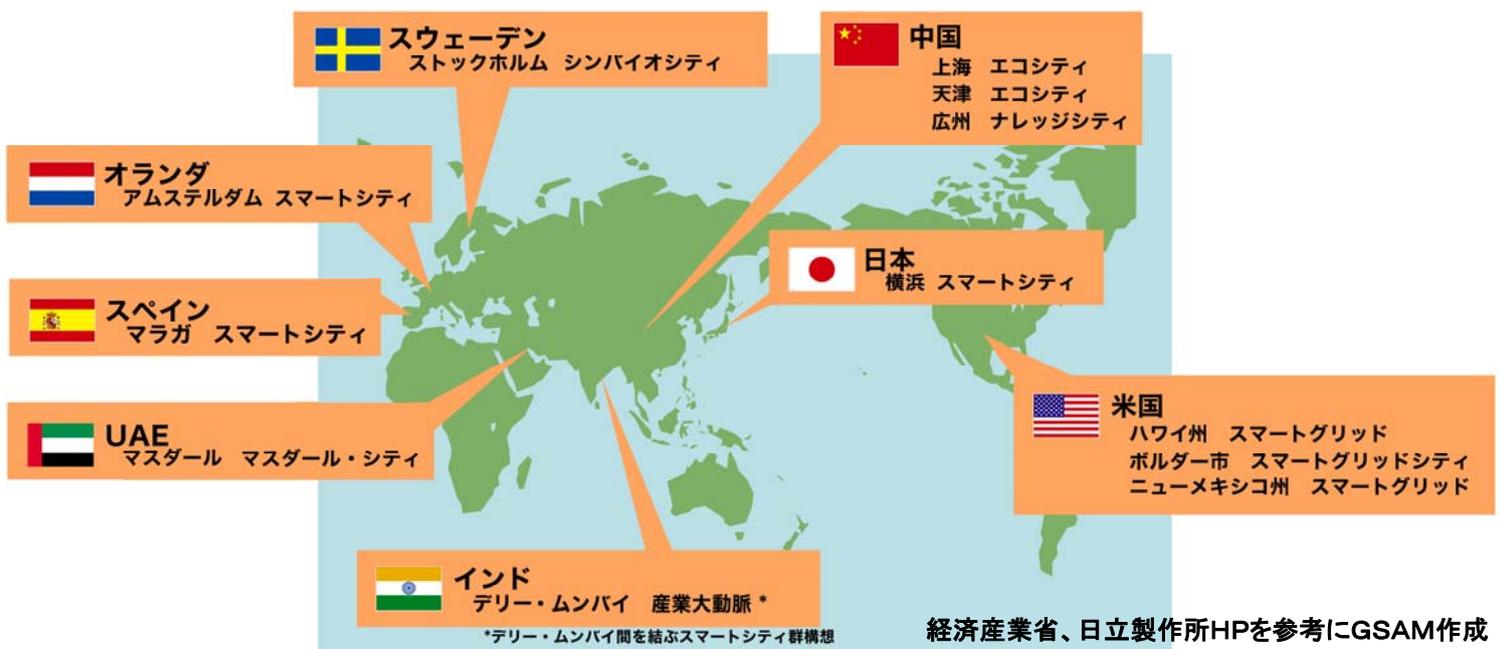
2011年12月、日立製作所は中国大手ITグループと協業し、中国におけるスマートシティ事業を展開していくと発表しました。

「スマートシティ」とは、環境配慮型の都市のことです。そこでは電力を効率良く活用する「スマートグリッド」の技術をベースに、再生可能エネルギーを用いた発電システムや電気自動車の充電システムなどを総合的に結びつけるといった最先端の技術が必要とされます。

スマートシティ構想は現在、世界中で200を超えるプロジェクトが進行しています。なかでも盛り上がりを見せているのが、経済成長著しい新興国です。たとえば中国では「天津エコシティ」をはじめおよそ100都市をスマートシティ化する計画があるほか、アラブ首長国連邦の「マスタードール・シティ」、インドのデリー・ムンバイ間にスマートシティ群を建設する「デリー・ムンバイ産業大動脈」構想など、多くの新興国がスマートシティ計画を進めています。

冒頭の日立の事例のように、新興国の現地企業は先進国に匹敵する高い技術力で存在感を示しています。また、先進国の企業も新興国のマーケットの発展性に注目しており、新興国のスマートシティ事業は、今後も加熱していきそうです。

世界に広がる主なスマートシティ・スマートグリッドプロジェクト



本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。<審査番号:68697.OTHER.MED.OTU>
© 2012 Goldman Sachs. All rights reserved.